

## 第 1 回住民自治推進団体連絡会議会議録

- ・住民に理解というが、職員が先ず地域に腰を上げてくれない。住民に理解をさせる前に職員に理解をさせるべきではないか。
- ・ここでの役割はどういうものか。説明を聞くだけなのか、それとも意見を言ってそれが反映されるのか。
- ・まちづくりの仕組みの中で、自主財源の確保があるが、自分たちで企画立案して実施していくことは極めて難しいと思う。
- ・概要の説明を受けるだけでなく、具体的な先進地の資料を見せてもらわないと頭の中に入っていくかない。
- ・強制ではないというが、想定スケジュールでは 27 年度に全地区スタートになっていること事態が強制ではないか。
- ・自主財源の確保というが、バザー収入や廃品回収だけでは財源確保と言えない。社会福祉協議会に渡している香典返しを校区にいただけるようにしないといけない。
- ・古い公民館でも拠点施設としてやっていくのか。会長室であるとか、パソコン室、談話室とかも必要になると思うが、そういったものも配置してくれるのか。
- ・公民館の中には雨漏りがあったり、ひび割れがあったりしており、誰も指定管理者制度を受けるところはない。
- ・出張所長会議の中で、役職のある人を地域に配置するということがあったというが、課長級なのか、課長補佐級なのか。
- ・説明にぶれが合ってはいけない。前に話したことと、今日話したことが違うようであればいけない。
- ・自治意識を変えていくことが大事であると思うが、それには人材の育成が必要である。人材を見つける作業を考える、動く人を探すことが必要であると思う。
- ・住民が成熟しないと今までと同じではいけない。
- ・今の社会は多様化であり、地域全体が一体となったコミュニティづくりが必要である。
- ・市民フォーラムでは小学校区単位という話があったが、もう少し小さな単位からスタートすることも考えられるのではないかと。例えば校区 4 地域で始めて少しずつ一緒になっていくということも考えられる。
- ・校区にこだわらなくてもいいのではないかと。